

2011.4.3

2011.3.11 東日本大震災による礼拝堂オルガン被害報告書

報告者：教養学部教授・大学オルガニスト 今井 奈緒子

泉礼拝堂（1988/Alfred Kern 社製）

調査日時 3 月 31 日 13:30～15:15

被害箇所：主として①～④の 4 項目。他に軽微なパイプの傾き、外れ、および導風管の脱管が見られる。原状回復可能なものは確認後に復帰。後述の通り、ふいごの風圧調整錘（超重量）に著しい移動、落下が見られ、ふいご皮破損の危険性から送風（楽器のスイッチオン）を見送った。特に建造時の耐震鉄骨工事が不全であったことが露呈され、徹底的な補強が望まれる。

①パイプオルガン後壁耐震鉄骨の移動と壁破損

写真 1：壁に向かって右側



写真 2：壁に向かって左側



②ふいご錘（風圧調整）のズレ、落下

写真はペダル部用ふいごを上から写したもの。3 基あるふいご上の錘が、上下左右方向へ移動、また後壁（この写真では上部の白い部分）側の床（楽器の最下部）に 3 個が落下していた。



③ペダル鍵盤 Subbass16'（大型木管パイプ）の3階部分からの脱落

写真 1：落下し第一手鍵盤部のパイプを損壊

